

すべてを地域のために

松枝おばあちゃんの夢
・米の作り手になりたい
・孫の教育資金

田んぼの活用

お米

米の生産指導

米生産指導料

村駒酒造の事業拡大

村田社長の夢
・酒米の安定供給
・食の安全

当行

取引強化

雇用拡大

地域

東邦銀行のPPP・PFIの取組み
～福島県の地方創生実現に向けて～

東邦銀行 法人営業部 駒木根奈央



すべてを地域のために

東邦銀行

駒木根奈央

平成19年4月 東邦銀行入行
平成24年9月 東邦銀行法人営業部へ配属
平成26年9月 東洋大学大学院経済学研究科 公民連携専攻 入学
根本ゼミ、五十嵐ゼミに所属
平成28年9月 9.5期生として同大学院修了



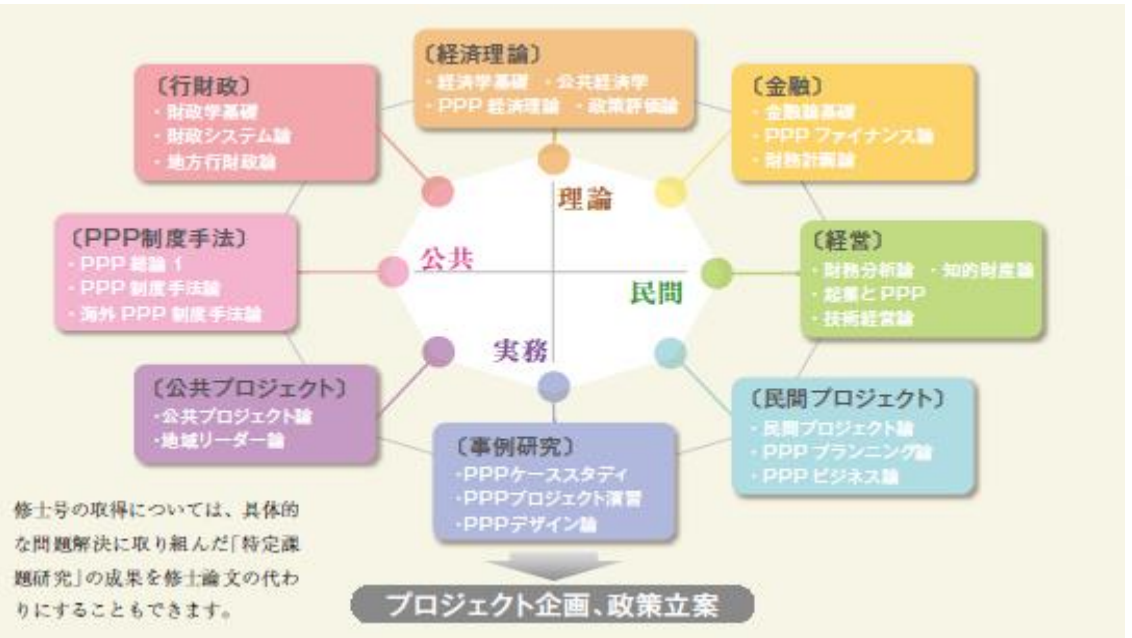
【東洋大学 公民連携専攻のご紹介】

東洋大学大学院 経済学研究科 公民連携専攻

シティ・マネジメント
コース

PPPビジネス
コース

グローバルPPP
コース



<東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻パンフレットより抜粋・事例>

- ◆公民連携に携わる様々な分野の社会人学生が同大学院で学ぶ。
- ◆公民連携専攻長の根本祐二教授はじめ、金谷教授など多彩な教授陣の元で、多角的に公民連携を学べるカリキュラム。
- ◆千葉県富津市や静岡県熱海市等へのヒアリング等を実施し、より実践的な事例を学ぶ。



目次

< I. 東邦銀行のPPP・地方創生への取組み >	・ ・ ・ ・ P 4
< II. 福島県内のPPP事例 >	・ ・ ・ ・ P 22
< III. 「ふくしまPPP／PFI研究会について」 >	・ ・ ・ P 25
< IV. PPP・PFI推進への課題 >	・ ・ ・ P 31
< V. PPP・PFIを推進するために >	・ ・ ・ P 40

I . 東邦銀行のPPP・地方創生 への取組み



1. 「すべてを地域のために」

福島県を基盤とする当行は、「福島県の地域活性化無くして成長なし」
⇒「すべてを地域のために」というコーポレートメッセージのもと、地方公共団体様等と連携し、グループ企業も含め一丸となって「ふるさとふくしま」を応援。

2. 地域企業支援

福島県内での雇用の場の創出や、更なる地場産業育成サポート
⇒新しい公共事業の形態であるPFIへのサポートを通じて、更なる地域企業育成を実践し、雇用を創出。

3. 地域課題解決に有効

人口減少社会や社会構造の深化により、地域の課題は多様化。
⇒行政セクターが担っている施策に、民間企業やステークホルダーが一体となり施策を展開することで、住民の方々が「住んで良かった」と感じられるまちづくりをサポート。

当行と県内地方公共団体様との連携

公民連携事業 (H24. 12~)

包括連携協定

- ・福島県を含む県内27地方公共団体と締結 (H29.11現在)
- ・経済、観光、暮らしなど様々な分野について連携

公民連携事業 (H27~)

地方版総合戦略サポート

- ・福島県のほか県内市町村へ地方版総合戦略策定に係る施策を提案 (含PPP・PFI関係施策)



県内地方公共団体様との包括連携協定締結

協定締結の状況

- ◆ 地方創生の実現のため当行と地方公共団体様が情報を共有し、連携して施策を推進。
- ◆ 福島県様をはじめ、県内13市、12町及び1村の合計27地方公共団体様と締結済（県内約半数）。
- ◆ 各地方公共団体様の「地方版総合戦略」の目標（KPI）達成のため当行が支援。

主な具体的取組み

- ◆ 企業誘致、イノベーションコースト構想（ロボット産業集積）、再エネルギー産業集積等への支援。
- ◆ 創業支援や地域企業の育成支援。
- ◆ 観光を通じた交流人口拡大への取組み支援や婚活支援。
- ◆ 地方公共団体職員様に対する勉強会の開催や各種教室の開催。



川俣町様との協定締結式：ゆるキャラ「小手姫様」と一緒に



国見町様の中学生を対象とした当行野球部による野球教室

ネーミングライツ取得

「とうほう・みんなのスタジアム」

- ◆福島県様所有のあづま陸上競技場（福島市）のネーミングライツを取得。
- ◆期間は平成25年5月～平成30年3月まで。



スポーツ振興の架け橋に

「とうほう・みんなの文化センター」

- ◆福島県様所有の福島県文化センター（福島市）のネーミングライツを取得。
- ◆期間は平成28年4月～平成33年3月まで。



文化振興による地域活性化を目指す

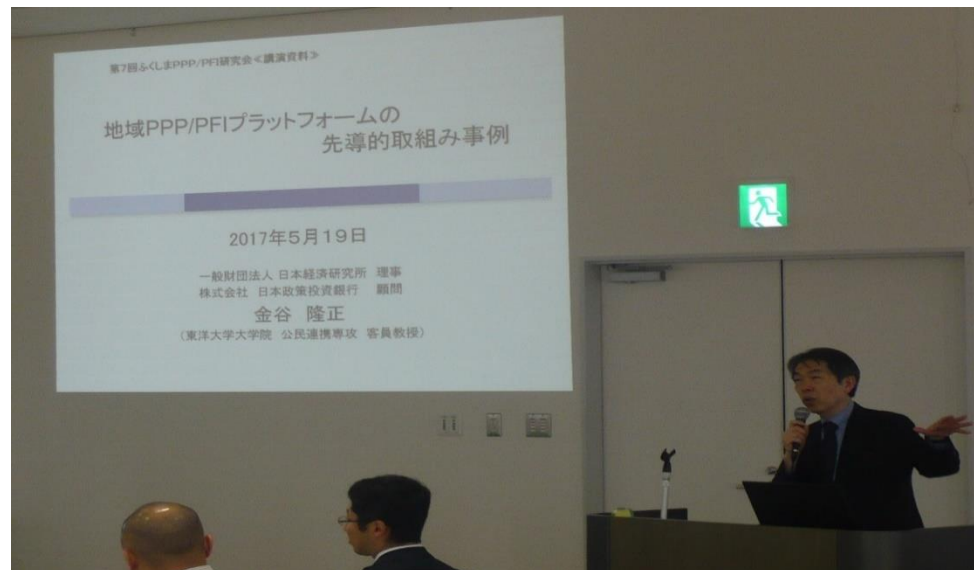
PPP・PFIの案件形成に向けた取組み

「ふくしまPPP/PFI研究会」の開催

- ◆人口減少社会・税収減により、地方公共団体様が保有する公共施設の複合化や再整備が急務。
- ◆地方公共団体様・民間企業様・当行が一体で、具体的案件の創出に向け当行主催で「ふくしまPPP/PFI研究会」を開催。

公共施設等総合管理計画の進捗支援

- ◆廃校活用、公営住宅の改修・再配置や社会教育施設の利活用、上下水道施設の再整備等、地方公共団体様の課題は山積。
- ◆研究会では、具体的なテーマを選定し参加者がディスカッションし、課題解決に向けたアイデアを創出。
- ◆各地方公共団体様が策定している計画の推進について連携しサポート。



(一財)日本経済研究所エグゼクティブ・フェロー金谷隆正様の講演



地方公共団体様・民間企業様・当行行員でワークショップを開催

新産業分野への支援

新産業分野に関するサポート

- ◆当行は、今後成長が見込まれるイノベーションコースト構想（ロボット産業集積）、再生可能エネルギー産業集積、医療・介護等の分野へのサポートとして、**本年4月に法人営業部内に「新産業金融推進室」を設置。**
- ◆震災からの復興を目指す県内浜通り地域のイノベーションコースト構想や再生可能エネルギーについて、県内への企業誘致を進めるべく、**当行が率先してサポート。**

新産業分野の関係機関との連携

- ◆産総研福島再生可能エネルギー研究所様との連携による技術開発サポート。
- ◆ふくしま医療機器産業推進機構様との連携による技術開発・事業化サポート。
- ◆東北経済団体連合会ビジネスセンターとの連携による事業化・販路拡大サポート。
- ◆福島県よろず支援拠点との連携による創業・第二創業サポート。
- ◆福島大学・福島県立医科大学・会津大学・日本大学工学部・福島高専・いわき明星大学等との高等教育機関と連携した事業化サポート。

創業・次世代経営者支援の取組み

ふるさと総活躍応援ファンド

～創業期・成長分野などに取組まれているお客様さま～

株式引受・社債引受

「とうほう・ふるさと総活躍応援ファンド」
(平成28年4月から取扱い開始)

出資

当行
9億9千万円

出資総額
10億円

出資・運営

東邦リース
山田ビジネスコ
ンサルティング
1千万円

次世代経営者支援体制の構築

◆復興応援「とうほう次世代経営者倶楽部」

創設の目的

- ◎ 人脈づくりのお手伝い
- ◎ 復興に向けた情報の提供
- ◎ 経営者としてのスキルアップ支援

◆「とうほう次世代経営塾」

現在第5期生までネットワークが構築



【とうほう次世代経営者セミナー】

「とうほう創業支援塾」の開催

平成29年度実績（開催地・参加人数）

福島市	郡山市	川俣町
1名	3名	8名

- ◆各地方公共団体様が規定する、特定創業支援事業への支援。
- ◆当行と福島県中小企業診断協会様が連携し、協会に所属する中小企業診断士が支援。
- ◆少人数のため、参加者と講師の関係が近く伴走型の運営が特徴。

「とうほう“起業家応援”相談会」の開催

- ◆原則月1回、創業や経営課題解決のため相談会を開催。
- ◆福島県よろず支援拠点様との連携により、参加者の課題に対する専門家が相対で支援を実施。
- ◆福島市の本店で開催。遠方の方は、当行各営業店と本店をテレビ回線で見守り対応。

IPO支援

- ◆IPO（株式上場）を目指す地元企業を支援。

在京福島県経済人の集い

在京福島県経済人の集いの開催

- ◆ 本年2月2日、東京・帝国ホテルで「ふるさと応援 在京福島県経済人の集い」を開催。福島県ゆかりの在京経済人と、内堀知事、県内各市町村長ら総勢280名様が一同に会し、ふるさと“ふくしま”復興のために交流を深めた。
- ◆ この集いは、首都圏で活躍する本県ゆかりの経済人と県内地方公共団体様等の交流による「人材のマッチング」を通じ、新たな活力創出を目的に当行が企画したもので、地方銀行では初めての取組み。
- ◆ 企業の首脳陣と首長が直接懇話することで、企業誘致や地域の課題解決に向けた施策へのサポート。
- ◆ 地方と首都圏を結ぶ必要な機会であり、地方創生実現のため来年2月2日に開催予定。



(左から) 砂子田東京福島県人会会長、内堀知事、北村頭取



地域資源を活用したふるさと名物サポート ＜各種ファンド・食の商談会＞

ファンドを活用した支援

＜ふるさと総活躍応援ファンド（再掲）＞

- ◆創業時・成長期の企業を中心に幅広い業種・分野に投資。
- ◆昨年からの取扱いを開始し、現在は8先の投資が決定。

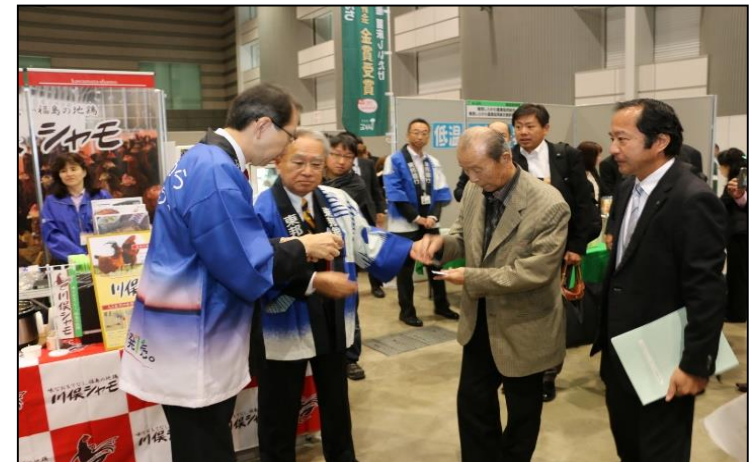
＜クラウドファンディング支援＞

- ◆ミュージックセキュリティーズ(株)と連携したクラウドファンディング支援。
- ◆昨年度より、福島県様と当社が連携し、出展費用やPR費用等の補助金制度が創設。
- ◆当行も両者と連携し、地域資源を活用した販路拡大に向け支援を継続。

食の商談会の開催

＜ふくしまフードフェア＞（当行・福島県様等と主催）

- ◆毎年1回、福島県郡山市のビッグパレットふくしまを会場に、6次産業等の販路拡大を目指し大規模な展示会を開催。
 - ◆県内企業を中心に約180社が参加。
- ＜地方銀行フードセレクション＞
- ◆全国の地方銀行協力による展示会の開催。東京都のビッグサイトに出展者が集結。
 - ◆当行関係は27社が参加。



ふくしまフードフェアで国内外に販路拡大を目指す！

地域資源を活用したふるさと名物サポート

＜「ふるさと応援！ふくしま酒まつり」・通販事業＞

「ふるさと応援！ふくしま酒まつり」

- ◆平成26年から、福島県内の地酒のPRと販路拡大を目的に、東京都丸の内「丸ビル」にてイベントを開催。
- ◆福島県様、ふくしま館MIDETTEや福島県酒造協同組合様等と連携し、ワンコインで3種の地酒を提供する飲み比べセットや地酒の直販を実施。
- ◆今年は来場者数約2千名、約2千セットの実績。



祝！5年連続全国新酒鑑評会金賞受賞数日本一！

通販事業への協力・協賛

- ◆福島県内の名産品を通販事業への協力・協賛により販路拡大をサポート。
- ◆平成24年4月から事業を開始。
- ◆平成29年9月現在、累計販売数185千件、累計販売金額757百万円。



各種通販事業で販路拡大をサポート

空き家対策に関する取り組み

移住・住みかえ応援ローンの創設

- ◆ 本年3月より、当行と一般社団法人移住・住みかえ支援機構（JTI）が連携し、「<とうほう>移住・住みかえ応援ローン」を創設。空き家の有効活用を提案。
- ◆ JTIのマイホーム借上げ制度を活用した商品を推進し、空き家へのリフォーム需要への対応や、県外から県内への移住を応援。
- ◆ 今後、空き家や中古住宅の利活用に対するニーズが更に高まることが予想。

地方公共団体様と連携した空き家対策

- ◆ 地方公共団体の空き家バンクに対する支援。
- ◆ 包括連携協定を締結している地方公共団体との情報共有。

TOHO BANK

<とうほう> 移住・住みかえ 応援ローン

「お住まいの持ち家」や「お持ちの空き家」の有効活用を考えてみませんか？

一般社団法人 移住・住みかえ支援機構（JTI）と提携している東邦銀行では、同機構のマイホーム借上げ制度を活用した商品で移住や住みかえに伴う様々なご資金のニーズにお応えします！

県外から
「ふくしま」へ移住

現在のお住まいの持ち家を有効活用。
「ふくしま」へ移住される方を応援します。

空き家を
リフォームして「賃貸」に

お持ちの空き家を有効活用。
リフォームして賃貸することで
家賃収入が期待できます。

一般口	
ご融資金額	1億円以内
ご融資期間	35年以内

リフォーム口	
ご融資金額	1,000万円以内
ご融資期間	15年以内

詳しくは奥面をご覧ください。

関係機関と連携した婚活支援

結婚相手紹介サービス業と連携した婚活支援

1. 事業承継への婚活支援

◆結婚相手紹介サービス業の「マリッジパートナーズ(株)」と包括業務提携し、経営者自身や後継者の婚活を支援。

◆地域企業様の事業承継の取組みにより事業継続や人口増加へのきっかけづくりを支援。

2. 地方公共団体様の婚活支援

◆人口減少に悩む地方公共団体様の課題解決に向け、自治体が主催する婚活イベントや世話 やき人養成 (ボランティア) 事業への支援。

◆同社が運営主体となり、イベント等を開催 (右図ご参照)。

当行が企業様・地方公共団体様の課題解決に向け、マリッジパートナーズ(株)と連携し出会いの場を創出。

平成29年度 もとみや出会いサポート事業

もとみや Christmas 出会いparty

この冬、素敵な恋が始まる予感

開催日時 2017.12.9 (SAT)
17:00スタート 男性 受付16:45~ 女性 受付15:45~
(20:30終了予定) ※女性のみ当日事前セミナーがございませ

当日スケジュール
1対1トークの自己紹介タイム
食事を楽しみながらグループトーク(原籍スワップル、ミニゲーム)
フリータイム
カップリングタイム(各自カードへ記入)
カップル発表

場所 ネーブルシティもとみや オープ aube
福島県本宮市本宮字南町裡38
☎ 0243-24-8140

対象 概ね25歳~概ね45歳の独身男女
男性 本宮市内在住または、実家が本宮市の方
女性 居住地を問いません

参加費 男性 4,000円 女性 2,500円

お友達割引! お友達とお二人以上で申込みの場合は一人あたり¥500割引
お支払方法、事前セミナーの詳細については発送書類にて参加決定者に個別にお知らせいたします

募集定員 独身男女各25名 計50名

募集期間 男性 2017年11月19日(日)まで
女性 2017年12月 3日(日)まで

※申込み多数の場合、本宮市在住の方を優先し、抽選により決定いたします。抽選結果は申込みいただいた方全員に郵送にてお知らせします。

人気の婚活セミナー開催!
~婚活パーティー攻略法!魅力アップセミナー~
参加費 無料
セミナーのみの参加も大歓迎!

男性 11月30日(木) 19:00~20:30
会場 えばか2階「中会議室」

女性 イベント当日12月9日(土) 16:00~16:50
会場 ネーブルシティもとみや aube(オープン)

お仕事をやむを得ない事情をのぞいて、できる限りご参加ください。

応募方法 いずれかの方法でマリッジパートナーズへお申込みください。

FAXの場合 ☎022-266-9588 裏面のお申込み票に必要事項を記入の上、送付してください。

お電話の場合 ☎022-266-1788 必要事項をお伝えください。

マリッジパートナーズホームページより申込み
<http://mpartners.jp/>
HPの婚活イベント「パーティー情報」から申込み登録をしてください。

※後援 事務局よりご連絡をいたします。お電話での連絡がとれない場合、イベントに参加できないことがございますのでご注意ください。

お問合わせ マリッジパートナーズ(株)
☎022-266-1788(火曜定休)
仙台市青葉区中央1-3-1 エアール17階

主催 / 本宮市 実施 / イベント事務局:マリッジパートナーズ株式会社

【本宮市様】クリスマスの時期に合わせた婚活イベント

婚活支援と移住・定住促進

婚活支援と移住・定住促進

1. 地方と都市部をつなぐ婚活支援
 - ◆都市部に転居した女性と、地元在住の男性を対象とした出張婚活イベントの開催。
 - ◆地元に戻りたい女性と、出会いを求める男性のニーズがマッチング。
2. 婚活支援と移住・定住促進
 - ◆婚活イベントで出会った男女が、交際後に同居⇒住まいをアパートに求めるほか、県内でもリノベーション中古住宅へのニーズが高まる期待。



婚活支援
+
若者に対する移住PR

平成29年度 南相馬市婚活支援事業

仙台駅前で恋の花を美味しく咲かせましょ♡

Delicious sweets marriage

デリシャス♡ スイーツ婚

開催日時 **2017.11.12 (sun)**
13:00～17:00 男性 受付12:30～ 女性 受付11:45～
(終了予定) ※女性のみ当日事前セミナーがございます

当日スケジュール
1対1トーク
食事を楽しみながらグループトーク
グループジャッフル&ワークショップ
フリートーク
カップリングタイム(全日カード記入)
カップル発表

場所 **TERRACE L エル**
宮城県仙台市青葉区中央1丁目
10-25 EDEN仙台
TEL022-748-5077

参加条件 **20歳～40歳までの独身男女**
男性 25歳～40歳まで
南相馬市内在住、または南相馬市勤務の方
または南相馬市に居住する意思のある方
女性 20歳～40歳まで
居住地を問いません

参加費 男性 5,000円
女性 2,500円
お友達割引あり!
お二人以上で申込みの場合
お一人様につき
¥500割引あり

募集定員 男女各15名 計30名
募集期間 男性 ～2017年10月22日(日)
女性 ～2017年11月1日(水)

※申込み多数の場合は、抽選により参加者を決定致します。
抽選結果は申込みいただいた方全員に郵送にてお知らせ致します。

注意 事項 男女ともセミナーへのご参加が条件となります
婚活パーティーで相手の心をキュッとつかむ
コミュニケーションセミナー

受講料 無料

男性 セミナー 11月5日(日) 14:00～16:00
会場:南相馬市労働福祉会館2階 会議室1

女性 セミナー イベント当日 12:00～12:50
会場:ヒューモスフライン9階 中会議室C
仙台市青葉区中央1-10-1

お仕事等やむをえない事情をのぞいて、できる限りご参加ください。

応募方法 いずれかの方法でマリッジパートナーズへ
お申込みください。

FAXの場合 ☎022-266-9588 書類のお申込み前に
必要事項を記入の上、
添付してください。

お電話の場合 ☎022-266-1788 ※必要事項
をお伝えください。

マリッジパートナーズ
ホームページ
http://mpartners.jp/
HPの婚活イベント・パーティー情報から申込み登録をしてください。

※後程、事務局よりご連絡をいたします。お電話での連絡がとれない場合、
イベントに参加できない場合がございますのでご注意ください。

●マリッジパートナーズ TEL:022-266-1788
●南相馬市婚活支援事業受託

【主催】南相馬市 【実施】イベント事務局 / マリッジパートナーズ株式会社
福島特定原子力施設地域振興交付金事業

観光支援

東北地銀6行及び日本政策投資銀行様の連携

- ◆東北地域全体での観光支援を図るため東北地銀6行及び日本政策投資銀行様との連携による業務協力協定を締結。
- ◆今後、共同事業を企画して東北の魅力の更なるPR、観光振興を展開予定。



平成29年3月に観光振興のため締結

地方公共団体様と連携した観光PR

- ◆当行、福島市様、山形県様及び米沢市様が連携し、東北中央自動車道開通（福島大笹生～米沢北）記念として、福島市及び米沢市で街頭PRを実施。
- ◆南相馬市様と連携し、伝統的な祭りである「相馬野馬追」をPR。甲冑姿の当行行員がインパクト絶大。



福島と米沢の架け橋に



歩行者が振り返る甲冑姿

廃校活用と当行の関わり

廃校をアニメ制作の聖地に

- ◆ 「新世紀エヴァンゲリオン」などを手掛けた「ガイナックス」社が、三春町立旧桜中学校様の廃校を活用し(株)福島ガイナックスを設立。
- ◆ 同時に、日本初となるアニメーションミュージアム「福島さくら遊学舎」もオープンし、地元アニメーターの育成も実施。

(株)福島ガイナックス社と当行の連携

- ◆ 平成27年10月より、(株)福島ガイナックス社が制作したテレビCMの放映を開始。本年9月から第2弾が登場。
- ◆ 主人公の女性新入行員「日向さやか」が地域社会で奮闘し、成長する姿を描くストーリー。
- ◆ デザインには「新世紀エヴァンゲリオン」主要キャラクターを制作した貞本義行氏を起用。



中学校をリノベーションした創作拠点
(福島大学・東邦銀行連携事業「地域戦略研究会」資料より)



廃校活用+アニメで地域活性化!

(東邦銀行「未来へのかけ橋 ~Bridge for future~」) より

地方創生セミナーの開催

地方創生を推進するためのセミナー

- ◆毎年1回、地方創生の施策立案支援のため、当行主催による「地方創生セミナー」を開催。
- ◆8月24日（木）に元観光庁長官の溝畑宏様、(株)ブランド総合研究所の田中章雄様を講師に招き、開催。
- ◆福島県内の地方公共団体様の首長や民間企業様、各団体様等、約230名様が参加。

県内地方公共団体様の関心のあるテーマ設定

- ◆今回は、観光振興や地域ブランドづくり、発信力向上をテーマを設定。地方創生への施策立案を学ぶ。
- ◆昨年度は農業振興と婚活支援をテーマに2回開催。
- ◆今後も地方公共団体様の施策立案に寄与するよう、セミナーを開催予定。



元観光庁長官（現：大阪観光局理事長）の溝畑宏氏による講演

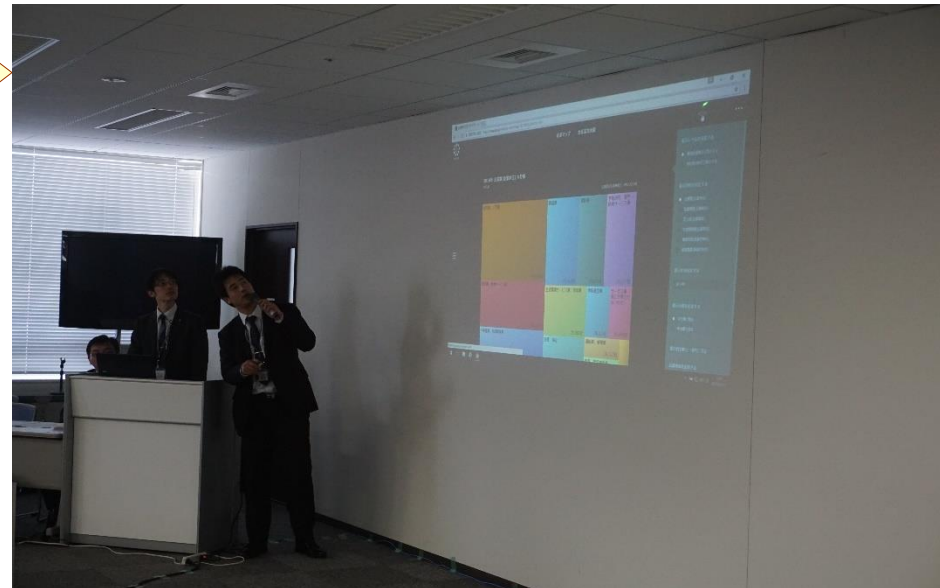


(株)ブランド総合研究所の田中章雄氏による講演

地域経済分析システム（RESAS）研修会

地域経済分析システム（RESAS）研修会の開催

- ◆ 当行と福島市様の包括連携協定に基づき、内閣府様がインターネット上で公表している地域経済分析システム（RESAS）の研修会を2回開催。
- ◆ 当行及び（一財）とうほう地域総合研究所が講師となり、市職員様合わせて約100名様がRESASを操作。政策立案の活用に使役された。



当行行員によるRESASの操作説明

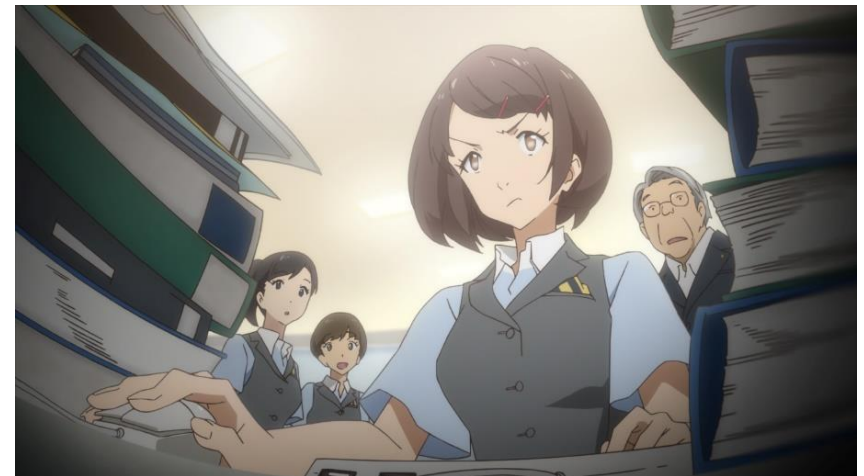
福島大学との連携によるRESAS活用研究

- ◆ 当行と福島大学様との連携による「地域戦略研究会」において、今年度の研究テーマをRESAS活用によるまちづくりとし、データを収集。
- ◆ 学生の視点で県内の地方創生への政策をまとめ、12月9日（土）に「地域戦略フォーラム」を開催し、学生の視点から施策立案の発表を行う予定。



RESASを実際に活用したデータ収集の手法を活用

Ⅱ. 福島県内のPPP事例



県内地方公共団体様のPPP（一例）

福島県様のPPP

- ◆福島県様・東京海上日動火災株式会社様、当行による三者連携協定を締結。行政・保険会社・金融機関の連携協定は全国初。
- ◆これまで大学生を対象とした「仕事体感ツアー」やBCPセミナー、東京海上様本店での「ふくしまマルシェ」を開催。



若年層への支援を目的に地方創生を目指す

福島市様のPPP

- ◆福島市様とカルビー(株)様が連携し、郷土料理「いかにんじん」味のポテトチップスを昨年発売。
- ◆異例の再々発売となり、今年から47都道府県ご当地チップスを発売。
- ◆袋に福島市様のシティプロモーションが施され、全国へのPRとなっている。



袋の裏側に花見山のプロモーションが掲載

県内地方公共団体様のPPP（一例）

会津若松市様のPPP

- ◆会津若松市様とアクセンチュア様が連携し、東日本大震災からの復興や雇用創出を目的に「福島イノベーションセンター」を設立。
- ◆AI、IoTなどの先進的な技術を活用し、IT関連企業の集積を目指す。
- ◆政府は、先進的なテクノロジーを活用した産業集積を「第4次産業革命」とし、今後の産業構造や就業構造が劇的に変革する中で、雇用創出の効果が期待。

郡山市様のPPP

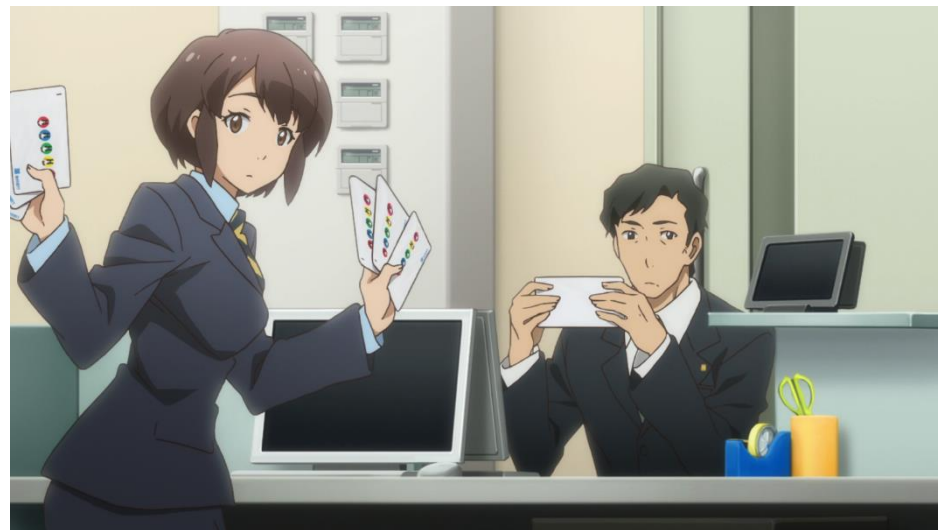
- ◆平成27年に郡山市様と（公財）三菱商事復興支援財団様が連携し、果樹農業6次産業化プロジェクトを開始。
- ◆福島県産果実を使用し、「ふくしま逢瀬ワイナリー」で製造したワインの出荷を開始。
- ◆今後は、従事する人材の育成等を目指し、更なる活性化を図る。

※郡山市様ホームページより引用・当行編集



郡山産ワインの誕生は来年予定。6次産業化が推進

Ⅲ. 「ふくしまPPP／PFI 研究会」について



「ふくしまPPP／PFI研究会」の概要

◆創設

平成26年4月25日

◆目的

県内のPPP・PFI事業の普及を促進し、公共施設等の建設や維持管理等に関し、公民連携による地域経済活性化に資するため、事業のノウハウの習得等について、県内地方公共団体様及び建設業を主とする民間企業様の参加のもと、定期的に勉強会を開催する

◆参加対象者

県内各地方公共団体様、地場大手建設会社様、設計会社様等（県内外を問わない）

◆主な活動内容

セミナーの開催、PPP・PFIに関する情報提供等

◆参加団体数等（H29.5月時点）

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
団体数	22	37	38	46	53	62	65
会員数	37	81	101	119	137	157	186

「ふくしまPPP／PFI研究会」の内容

有識者の方からのご講演

- ◆一般財団法人日本経済研究所エグゼクティブ・フェローの金谷隆正様をはじめ、有識者を招いて講演。
- ◆PPP・PFIに関する知識の習得や、現在の国の考え方や全国地方公共団体の事例等を学ぶ。
- ◆初めての参加者もPPP・PFIの知識習得が可能。



第3回から現在まで金谷講師にご講演をいただく

参加者によるワークショップ

- ◆参加者がテーマに沿ってグループでディスカッションを行い、発表するワークショップを開催。本研究会の特徴的な取組み。
- ◆本年5月の研究会は、実際の公共施設を取り上げ、公共施設の集約化や跡地利用等を議論するなど、各地方公共団体が抱えるテーマを設定。



白熱していつもタイムオーバーとなるワークショップ

「ふくしまPPP／PFI研究会」の内容②

地方公共団体様の取組み発表

- ◆福島市様の下水道に関するビジョンや、郡山市様のPPPへの取組み事例等の発表。各市が検討するPPP・PFIについて学ぶ。
- ◆各地方公共団体が抱える課題は多く、人口減少社会や予算の制約がある現在では、「公民連携」が必要不可欠であることを共有。



福島市・吉田様の発表



郡山市・佐藤様の発表

PFIを実際に活用されている民間事業者様の事例発表

- ◆山形県東根市様のPFIを活用した社会教育施設に関し、建設・設計に携わった鹿島建設株式会社様、株式会社山下設計東北支社様、運営面から株式会社図書館総合研究所様より事例発表。
- ◆公共施設の複合化による集約、質の高いサービス提供による市民満足度の向上等が発表。



(左から) 鹿島建設(株)吉田様、(株)山下設計谷口様、(株)図書館総合研究所野田様の発表

参加者の感想（当行アンケート調査より）

参加者満足度 90%以上

◆主なご意見

- ・「自治体だけでなく、民間事業者や金融機関でどのような意見を持っているのか知ることができた。今後もこのような機会に触れ、意見を聞ければと思う。」（地方公共団体様職員）
- ・「行政職員だけの研修、ディスカッションは多く参加してきたが、民間事業者の方も一緒になって考えることのできる機会は非常にありがたい。」（地方公共団体様職員）
- ・「自治体担当者との意見交換で、プロポーザルコンペの実施方法について民間からの意見が言えた。」（民間事業者様）

【アンケートや意見交換会での特徴的なご意見】

地方公共団体様 からのご意見

- ・ PPP・PFIは大変そうな事業と思っていたが、民間企業の方と意見交換することで事業イメージが湧いた。
- ・ 行政から直接民間企業に解決策を聞くことは困難であり、このような公民連携のプラットフォームがあることはありがたい。

民間企業様 からのご意見

- ・ 行政が抱える課題を直接聞いたことは、非常に有意義。
- ・ 行政の課題が見えることができれば、民間企業としてサポートできる部分はぜひしたい。

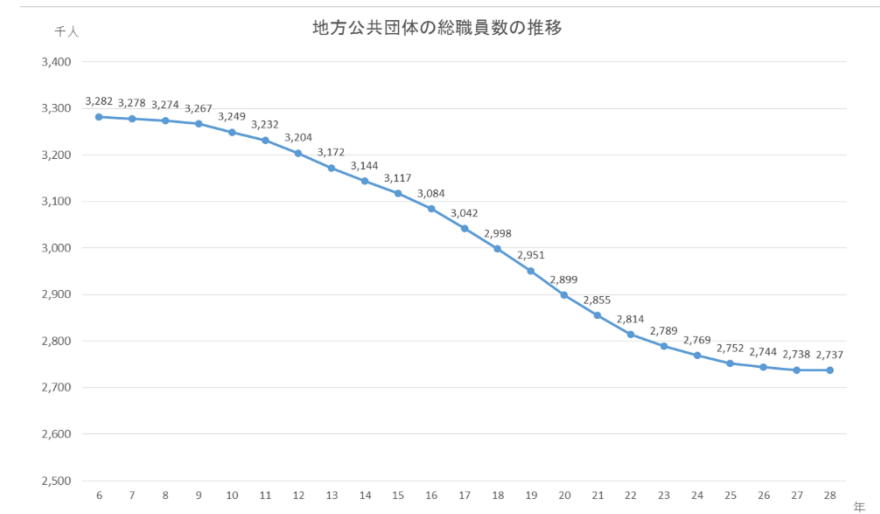
IV. PPP・PFI 推進への課題



地方公共団体様の現状

地方公共団体の職員数の推移

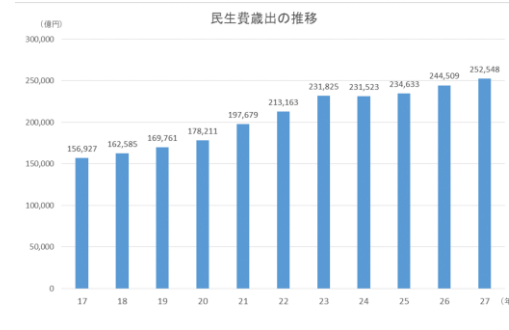
- ◆平成6年以降、全国の地方公共団体様職員数は減少の一途。
- ◆平成12年には「地方分権一括法」が施行され、現在は地方創生にかかる「地方版総合戦略」の施策実施等、地方公共団体様の環境は激変。



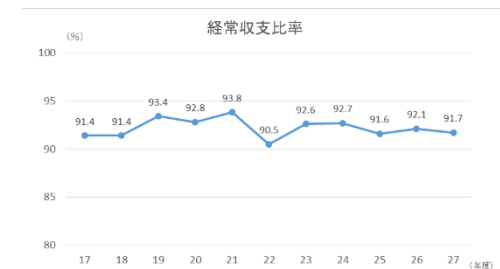
出典：総務省「平成29年度地方財政白書」より引用・当行編集

財政面の推移

- ◆民生費等の増加により、地方公共団体が独自施策に活用できる予算は減少。経常収支比率（予算の中で人件費・扶助費・公債費等の経常的に支出される予算）の割合は10年以上90%超。
⇒財政状況は厳しい団体が多い。



民生費の推移



経常収支比率の推移

出典：総務省「平成29年度地方財政白書」より引用・当行編集

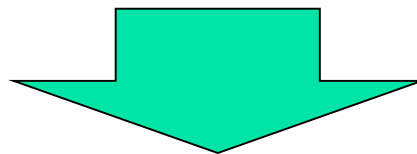
地方公共団体様の課題

地方公共団体様のPPP・PFIの課題・イメージ

- ① PPP・PFIは大変で難しそう。PFIの事業案件には相当な時間がかかり、これまでの公共事業で発注した方が期間が短そう。
- ② 専門知識を持つ職員がいないor足りない。
- ③ 地方公共団体様がPPP・PFIの施策を展開しようとしても、民間企業様の意見が聞けない。

地方公共団体様を取り巻く環境

- ◆ 職員の減少、財政面での厳しい環境が続いている。
- ◆ 今後も人口減少社会・高齢社会が続く見通しであり、社会保障費等の財政支出増加が不可避。



今こそ地方創生・地域活性化のため
PPP・PFIを推進！！！！

P F I の期間

① P F I の案件は時間がかかる？

【地方公共団体様の主な事務】

※期間は用途や各事業によって異なります。

事項	期間
部署横断組織（P F I 推進組織）立ち上げ、調査費 議会承認	約 4 か月
P F I 導入可能性調査、産学官金プラットフォーム 構築・意見まとめ	約 1 7 か月
実施方針公表、パブリックコメント実施、入札公 告、提案書受付等	約 8 か月
審査・結果発表、仮契約、議会承認（本契約）	約 5 か月
合計	約 3 4 か月

約 3 年！

出典：平成 2 9 年 5 月「第 7 回 ふくしま P P P / P F I 研究会」資料より編集

PPP・PFIの人材育成

② PPP・PFIの知識習得

【PPP・PFIの知識習得・人材育成（一例）】

1. 国の機関

- (1) 内閣府民間資金等活用事業推進室（PFI推進室）様
⇒ 案件形成、専門家派遣支援等
- (2) 国土交通省総合政策局官民連携政策課様
⇒ 地域プラットフォーム形成支援等

2. 民間支援機関

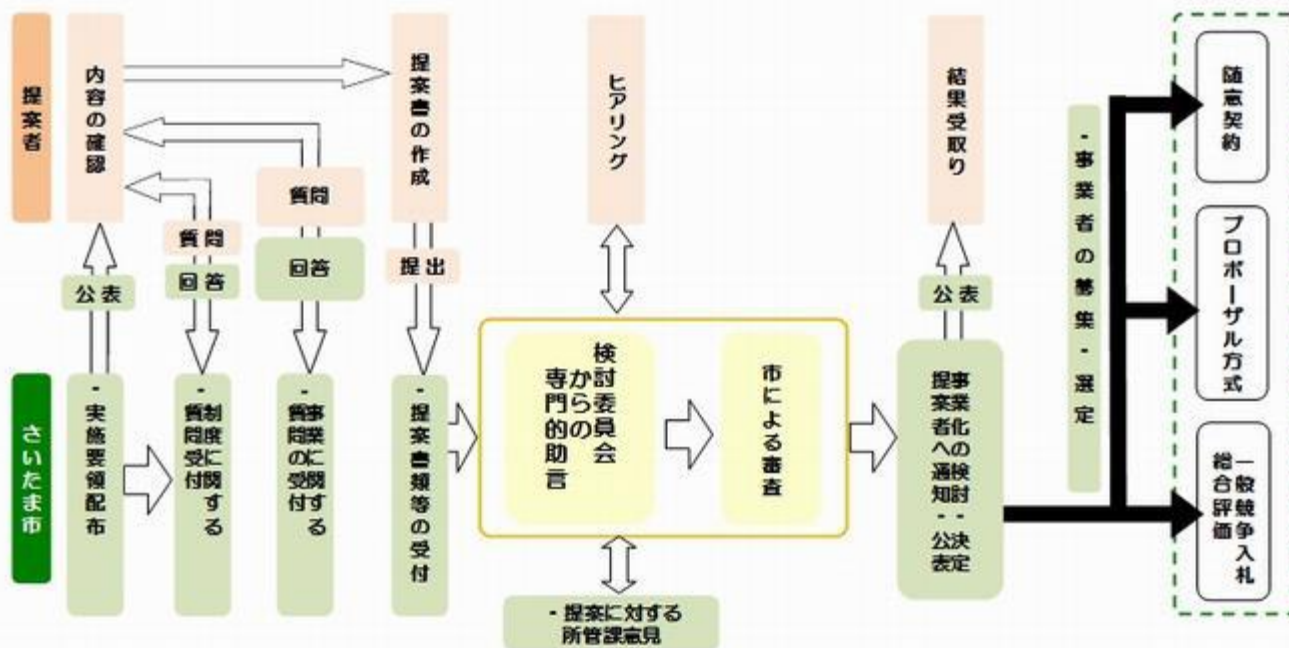
株式会社日本政策投資銀行様主催「PPP／PFI大学校」
⇒ 現在、第7期が開講。（一財）日本経済研究所エグゼクティブ・フェローの金谷隆正様がコーディネーター。全国のPPP・PFIの具体的な事例等を学ぶ。

さいたま市様の取組み

③ PPP・PFIの課題発出手法

【さいたま市様の事例】

- ◆ 「さいたま市提案型公共サービス公民連携制度」に基づき、行政の課題である施設の有効利用や未利用地の活用方法の提案を募集。
- ◆ 毎年度事業内容が更新され、今年度は8事業の提案（レストランスペース、未利用地やネーミングライツ）を募集。
- ◆ 市の審査を経て、随意契約や入札等により事業化。



<Point!>

- ◆ 行政が課題を自ら発出して民間提案を募集。
- ◆ 民間のノウハウと市の計画・施策を合わせて地域の課題解決を図る。
- ◆ プロポーザルや一般競争入札による選定の場合は、提案者に全体評価点の5%を加点してインセンティブを確保。

出典：さいたま市様ホームページより編集

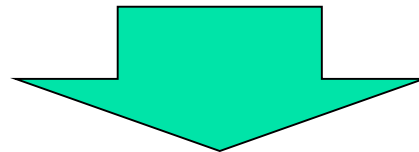
民間企業様の課題

民間企業様のPPP・PFIの課題・イメージ

- ◆ PPP・PFIは大変で難しそう。
⇒①をご参照
- ◆ 民間提案してもインセンティブが無い
のでは？⇒③をご参照
- ④必要な事業のイメージがわからない。
- ⑤大手事業者等に仕事を取られ、地元
企業が参画できないのではないかと？

民間企業様の取り巻く環境

- ◆ 福島県内での復興需要が一段落し、
公共事業の発注減少が予想。
- ◆ PPP・PFIへの対応には関係機
関が連携して新しいサービスを提供
する必要がある。



新しい公共サービス提供への
体制構築が必要！

P F I への民間企業様の関わり

④民間企業様からみたP F Iに必要な事務は？

【民間企業様の主な事務】

※内容は用途や各事業によって異なります。

事項
民間提案資料作成
産官学金プラットフォームへの参加
S P C（特別目的企業）の検討設立、契約締結、 建設・運営

山形県東根市様の事例

⑤大手総合建設会社様ばかりが仕事を請け負うのか？大規模な地方公共団体でないとPFIは進まない？

【山形県東根市様の事例】

- ◆東根市様は人口5万人弱。これまで4件のPFIを具現化。
- ◆PFIのメリットは、設計・建築から運営まで一括で実施される点。
- ◆昨年オープンした「まなびあてらす」は、美術館・図書館・市民活動支援センター・都市公園・カフェテリア等が集約。
- ◆設計段階から、施設のコンセプトにあった什器のデザインが施され、施設の一体感が高まる。
- ◆SPCは、大手総合建設会社様と地元企業様で構成。特に運営・維持管理上の課題解決やメンテナンスは迅速な対応が必要なため、地元企業の存在が不可欠。

< V . P P P ・ P F I を推進するた
めに >

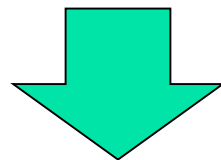


PPP・PFIを推進するために

まずは、地方公共団体様の課題発出を！

【PPP・PFIを推進するポイント】

1. 地方公共団体様の「課題は何か」を可視化する
⇒人口減少社会・高齢社会の中で「行政経営の課題は何か、何を求めているのか」を明確に！
行政経営の課題＝地域の課題として発出を！



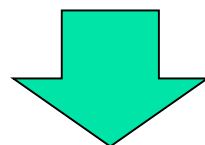
例：公共施設の運営費・・・ネーミングライツ等
空き家対策・・・不動産業、建築士会等幅広い
分野の産業と連携

PPP・PFIを推進するために

次に、公民連携のプラットフォーム構築を！

【PPP・PFIを推進するポイント】

2. 地方公共団体様と民間企業様の接点を創る
⇒地方公共団体様の課題解決に向け、民間企業様が協力できる施策や範囲を知るために、**公民連携のプラットフォーム構築を！**



～構築には、当行の「ふくしまPPP／PFI研究会」
を活かした公民対話の場の創出をご検討ください～

地域金融機関の役割とサポート

地域金融機関だからこそできること

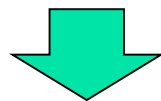
【地域金融機関としての役割と今後の取組み】

1. 役割

地方公共団体様と地域企業様のニーズの共有、マッチングをサポート。「地域と一蓮托生」である地域金融機関だからこそ福島県の発展に貢献。

2. 今後の取組み

当行グループ・関係各所が一体となり、経営課題・地域課題解決に向けた各種ご提案を実施。



皆さまと連携して、福島県の地方創生を目指します！



ご静聴ありがとうございました！

PPP・PFI、地方創生についてのお問い合わせは、

東邦銀行 法人営業部 公務・地域振興室（電話：024-523-0972）まで！



すべてを地域のために

東邦銀行